

公益社団法人 日本糖尿病協会

JADEC REPORT 2023

ポップ、ステップ、ダイアベティス

みんなで変えよう糖尿病



JADEC公式
マスコットキャラクター
「マールくん」

2023年度 JADEC(日本糖尿病協会)の活動

グルカゴン点鼻粉末剤の教職員による 投与に関する要望書が認められました

学校や保育所幼稚園での糖尿病のある子どもに対する教職員のグルカゴン点鼻薬の使用を求め、2021年から厚生労働省・文部科学省に働き掛けを行い、2024年2月に要望が認められました。

これにより、糖尿病のある子どもの重症低血糖への対応が速やかになり、病気とともに生きる子どもの可能性が大きく広がりました。



参考図：グルカゴン点鼻粉末剤
【引用】「低血糖時の救急処置のために
バスキュー @点鼻粉末剤使用の手びき」
BAQ_Kanja_kyouiku_hoiku_leaflet_h1_h4_230630(diabetes.co.jp)

JADECによる要望のプロセス

2021年2月	ペイシェントサポート委員会で「グルカゴン点鼻薬の使用範囲に関するワーキンググループ」を設定し、範囲、内容を検討
6月	「グルカゴン点鼻粉末剤の学校や保育所での教員や職員の使用を求める要望書」を厚生労働省 大臣官房 厚生科学課に提出
8月	文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課、厚労省 医政局医事課の担当官と、ペイシェントサポート委員会の委員長・委員で面談。グルカゴン点鼻薬の学校での使用場面等の情報交換を行う。学校職員向けのマニュアル案の制作を依頼される
9月	マニュアル案を文科省、厚労省に提出
2022年2月	厚労省医政局医事課より、学校での低血糖対応やグルカゴン点鼻薬の具体的な投与判断や手技に関する追加質問 ペイシェントサポート委員会で回答を作成し、提出

糖尿病治療薬の安定供給を厚労省に要望

2023年11月6日、日本糖尿病学会、日本くすりと糖尿病学会とともに、一部の糖尿病治療薬の供給ひっ迫や後発医薬品の供給不安に対し、安定的な供給体制の構築を求める要望書を厚生労働省に提出しました。医薬品を必要とする人が安心して治療を受けることができる環境の早期実現を目指します。



2023年11月6日厚生労働省にて

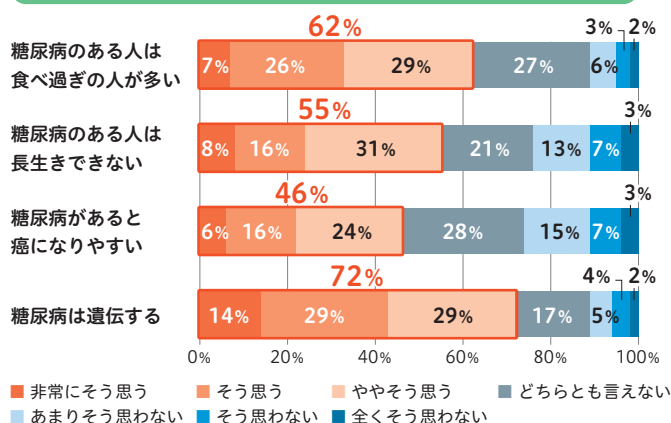
糖尿病の新たな呼称として「ダイアベティス」を提案

2023年9月、日本糖尿病学会と合同で報道関係者を対象とする「メディアセミナー 2023」を実施しました。「糖尿病のスティグマ」の問題や市民を対象に行ったアンケート調査の結果を紹介し、病名が直接的・間接的に生み出す誤解や誤った印象を取り除くため、学会・協会合同アドボカシー委員会は、新たな呼称として「ダイアベティス」を提案しました。



●糖尿病のある方＆ない方にお聞きしました

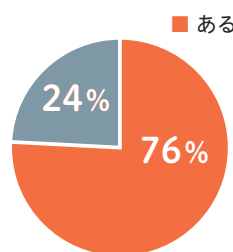
糖尿病に対しての以下のイメージについてどう思うか？



2023年4月21日開催市民公開講座事前アンケートより

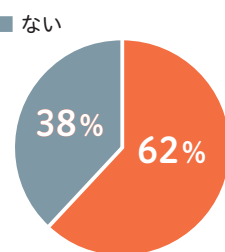
●糖尿病のある方にお聞きしました

糖尿病であることで不利益を受けたと感じた事がある



●糖尿病のない方にお聞きしました

糖尿病のある方は、その病気を理由に不利益を感じていることを聞いたことがありますか？



2023年4月21日開催市民公開講座事前アンケートより

令和6年能登半島地震の対応

災害時糖尿病医療支援チーム（DiaMAT）が初めて活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震での被災地支援において、災害時糖尿病医療支援チーム（DiaMAT）専用サイトを開設し、日本糖尿病学会と連携して関東甲信越、中部、近畿ブロックからDiaMAT派遣チームを募集しました。1月中旬～2月末まで6チームがJMAT（日本医師会災害医療チーム）とともに避難所等を訪問し、被災された糖尿病のある方の医療支援を行いました。



保健活動に関する会議



東増穂公民館での患者対応（フットケア）

～能登半島地震義援金のご報告～

JADECでは、能登半島地震で被災された方々への支援のため、広く皆さまから義援金を募りました。お寄せいただいた義援金700,000円は、石川県糖尿病対策推進会議に寄付し、被災された糖尿病のある方々の医療支援等に活用していただきます。ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。

JADEC(日本糖尿病協会)の活動について

JADECのステークホルダーは、糖尿病のある人、医療者、自治体、企業など多岐に渡ります。そうした方々に向けて、以下の4つの目標を持って活動しています。

1 アドボカシー活動

糖尿病のスティグマ払しょくに
取り組みます。

- 糖尿病のこぼれを見直すプロジェクト
- 市民向け啓発講座
- メディアセミナー

など

2 糖尿病の正しい知識の普及啓発

糖尿病の治療や予防について
正しい知識を広めます。

- 糖尿病専門雑誌の発行
- 治療に役立つグッズの制作
- 糖尿病の子どものキャンプの実施
- 年次学術集会の開催

など

3 調査研究

よりよい医療を提供するための
基礎づくりを行います。

- 研究助成
- 糖尿病のある人や医療関係者への
アンケート調査
- 糖尿病治療薬の市販後調査

など

4 国際交流

日本だけにとどまらず、世界規模で
糖尿病対策に取り組みます。

- 世界各国の学・協会との協調
- 国際糖尿病連合の一員としての活動
- アジア地域の若手研究者育成

など



JADEC(日本糖尿病協会)の会員

JADECには、糖尿病に関心のある方ならどなたでも入会することができます。糖尿病のある人やご家族、糖尿病診療に携わる医療者や企業の皆さんが、JADECという輪の中で同じ目的をもって活動しています。

友の会
会員

医療機関に設けてある「糖尿病友の会」に入会する会員です。協会誌「糖尿病ライフさかえ」の購読と、友の会での交流活動に参加できます。友の会は、全国の約1,600の医療機関に設置されています。

本部
会員

JADEC本部に入会し、協会誌「糖尿病ライフさかえ」を購読して、糖尿病の知識を深めることを目的とする会員です。全国どこからでも入会が可能で、若い世代や医療者が多く参加しています。

上記以外にも、JADECの目的に賛同して、活動をご支援いただく企業・団体や個人を対象とする賛助会員制度もあります。

JADECへはどなたでも入会できます！入会方法は2種類

①「友の会」への入会

友の会とは？ 各地の医療機関ごとに、糖尿病がある人とその家族、医師、看護師、栄養士などの医療スタッフで作られています。

「友の会」の会費・入会方法

- 「友の会」ごとに活動内容が異なるため、会費は全国一律ではありません
- まずは通院している医療機関にお問い合わせください
- 通院している医療機関に友の会がない場合でも、都道府県糖尿病協会が設ける友の会に入会できる場合がありますので、JADEC、または、都道府県糖尿病協会にご相談ください。

② 本部会員として入会

活動する時間のない方、まずは「さかえ」を読みたい方、受診している医療機関に「友の会」がない方

本部会員への入会方法

- JADEC事務局にご連絡ください

入会のお申込み、お問い合わせは、電話・ファックス・ウェブ・Eメールでお気軽に

☎ 03-3514-1721

💻 www.nittokyo.or.jp

☎ 03-3514-1725

✉ office@nittokyo.or.jp

発行雑誌紹介

JADECでは、協会誌として「さかえ」や「DM Ensemble」を発行し、糖尿病治療の正しい知識を提供しています。

月刊糖尿病ライフ「さかえ」

月刊／定価：550円(会員は無料)
64ページ／A4変型判



■さかえ1月号

特集1 糖尿病アドボガシーの新時代
特集2 糖尿病のアドボガシー活動
特別企画1 境界型糖尿病とアルツハイマー病
特別企画2 GLP-1受容体作動薬について
プラスワン講座 SMBG、CGMと静脈血の血糖値の違い



■さかえ4月号

特集1 甲状腺疾患と糖尿病との気になる関係とは？
特集2 栄養療法支援アプリ
特別企画1 摂食嚥下障害とリハビリテーション最前線
特別企画2 健診・保健指導から糖尿病を考える



DM Ensemble

医療者向け／年6回発行
定価：990円(会員は半額)／デジタル版



Vol.12 No.6(2023年12月発行) デジタル版

特集1 インクレチン治療の新たな展望
特集2 糖尿病性自律神経障害

JADEC協会グッズ紹介

JADECでは、糖尿病関連企業の協賛により下記のグッズを発行。
医療施設などを通じて無料で配布しています。

糖尿病連携手帳

1,800,700部発行

検査値や治療内容などを記録し、治療を可視化。地域連携・病診連携にも活用される手帳



活用方法について
動画で解説しています



手帳のポイント

適切な検査を適切な時期に行うため、2年間にわたる検査計画を記載するページを新設しました。

自己管理ノート

1,093,000部発行

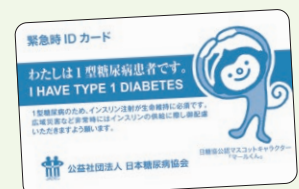
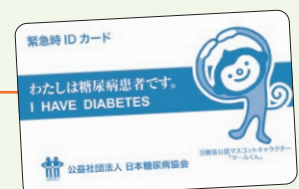
毎日の血糖自己測定結果だけでなく、血圧、体重、歩数も記録し、主治医と情報共有する複写式のノート



糖尿病IDカード

30,000部発行

緊急時に糖尿病であることを周囲に知らせるカード。



(会員限定)

糖尿病のある高齢者にもやさしいスマートフォンアプリ「糖尿病を知る」

ITを活用して、平時でも災害発生などの非常時でも、糖尿病のある高齢者に適切な情報を伝えることを目的に、デジタルアプリ「糖尿病を知る」を開発し、無償で提供。ダウンロード数は約3,700件に上りました。

このアプリの特徴は、ITに親和性のない高齢者でも簡単に

操作できる点にあり、文字数を減らして情報量をコンパクトにまとめています。

また、災害時には、糖尿病のある人の避難生活に必要な情報を提供します。このアプリは、日本財団の助成により制作しました。

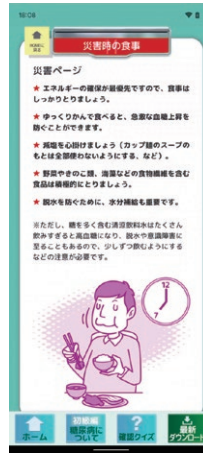
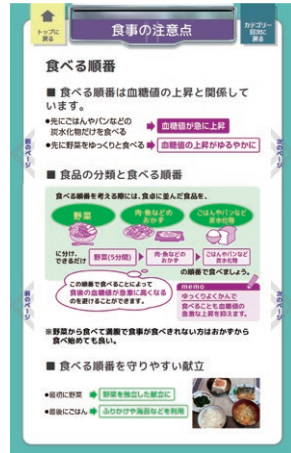
ダウンロード用QRコード



App Store



Google Play



災害発生時モード



糖尿病食事療法の あいうえお

339,850 部発行

毎日の食事療法をわかりやすく説明する冊子



あなたの腎臓を守る 食事療法かきくけこ

259,250 部発行

糖尿病腎症の食事療法の工夫を紹介する冊子



心も体も元気にしたい！ 食事の工夫 ～料理を試みませんか？～

57,100 部発行

高齢世代を対象とした簡単でおいしいレシピも掲載の食事療法冊子



血糖値が高めといわれた 妊婦さんのための 食事療法

57,100 部発行

妊娠糖尿病の食事について詳しくまとめられた冊子



糖尿病カンバセーション・マップ™



「糖尿病カンバセーション・マップ」は糖尿病のある人やその家族、友人が数名のグループがファシリテーターの医療者と6つのテーマに沿って話し合い、境遇をともにする人が知識や体験から糖尿病について互いに学び合う、新しい糖尿病の学習教材です。医療者は、JADECが主催する研修会に参加すると、カンバセーション・マップを使うことができます。

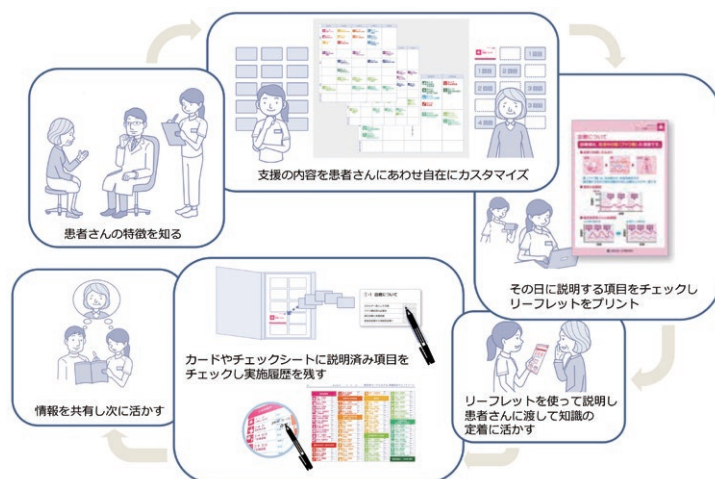
6つのテーマ

1. 「糖尿病とともに歩む」
2. 「糖尿病とはどんな病気ですか？」
3. 「食事療法と運動療法」
4. 「インスリン注射」
5. 「フットケア」
6. 「糖尿病合併症」

糖尿病カードシステム

糖尿病カードシステムは、糖尿病のある人一人ひとりの特徴に合わせたサポートができるテーラーメイドな医療支援ツールです。糖尿病の治療を約100種類に細分化し、それぞれのカードに対応したリーフレットを用いて医療支援を行うことができます。

医療施設にカードシステムを導入するには、研修会の参加が必要です。その他、動画視聴により基本部分の38枚のカードを、各地で開催のミニレクチャー受講で12枚のカードをお試しいただくことができます。



糖尿病カードシステムの仕組み

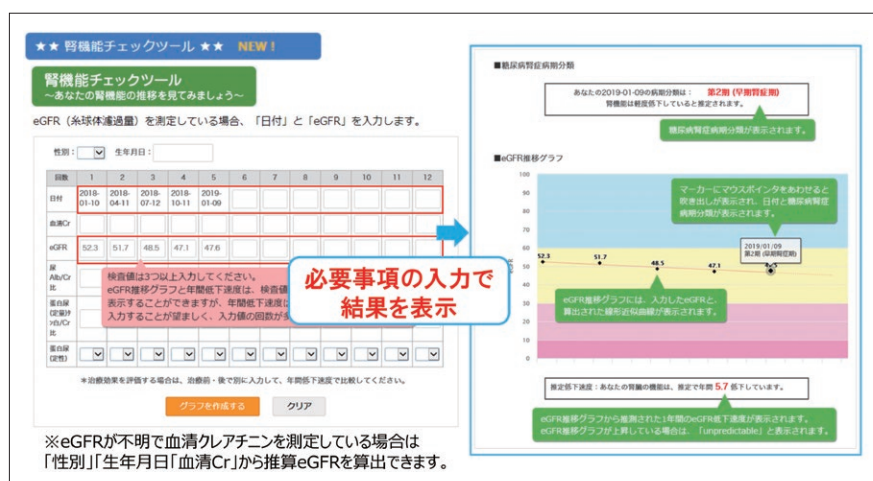
腎機能チェックツール ～あなたの腎機能の推移を見てみましょう～

腎機能の検査値等を入力する事で、現時点での腎症の病期、腎機能の低下速度を算出します。また、eGFRの推移をグラフで確認できます。このツールは、医療機関だけでなく、糖尿病腎症重症化予防に取り組む自治体でも活用いただいています。

*2023年4月に新機能を追加。入力した検査データをCSVファイルとして書き出すことができるようになりました。



ご利用は上記QRコードから



北海道

北海道糖尿病協会
☎ 011-231-4032
医療法人 萬田記念病院

東北

青森県糖尿病協会
☎ 0172-39-5062
弘前大学大学院医学研究科
内分泌代謝内科学講座

秋田県糖尿病協会
☎ 018-884-6769
秋田大学大学院医学系研究科
代謝・内分泌内科学

岩手県糖尿病協会
☎ 019-907-6856
岩手医科大学医学部 内科学講座
糖尿病・代謝・内分泌内科学分野

山形県糖尿病協会
☎ 023-682-1111
済生会山形済生病院

宮城県糖尿病協会
☎ 022-717-7611
東北大学加齢医学研究所プロジェクト棟5F
糖尿病代謝・内分泌科

福島県糖尿病協会
☎ 024-925-1188
太田西ノ内病院 庶務課

関東甲信越

茨城県糖尿病協会
☎ 029-353-2800
医療法人健清会 那珂記念クリニック

群馬県糖尿病協会
☎ 027-220-8121
群馬大学医学部附属病院
内分泌糖尿病内科

栃木県糖尿病協会
☎ 0282-87-2150
獨協医科大学病院
内分泌代謝内科

東京都糖尿病協会
☎ 03-6892-2962
東京都糖尿病協会事務局

千葉県糖尿病協会
☎ 043-245-8808
千葉県糖尿病協会事務局

埼玉県糖尿病協会
☎ 080-2382-4630
自治医科大学附属さいたま医療センター

神奈川県糖尿病協会
☎ 080-8815-1234
川崎市立川崎病院
糖尿病内科

山梨県糖尿病協会
☎ 055-273-3310
山梨大学医学部
糖尿病・内分泌内科

長野県糖尿病協会
☎ 0267-67-2295
佐久市立国保浅間総合病院

新潟県糖尿病協会
☎ 025-368-9026
新潟大学医歯学総合病院
血液・内分泌・代謝内科医局

中部

静岡県糖尿病協会
☎ 054-247-6134
静岡県立総合病院 栄養管理室

愛知県糖尿病協会
☎ 0561-63-1682
愛知医科大学医学部内科学講座
糖尿病内科

三重県糖尿病協会
☎ 059-331-2000
JCHO四日市羽津医療センター

岐阜県糖尿病協会
☎ 058-230-6378
岐阜大学医学部附属病院
糖尿病代謝内科

富山県糖尿病協会
☎ 076-433-8843
富山赤十字病院 医療社会事業部

石川県糖尿病協会
☎ 0761-21-0965
石川県糖尿病協会事務局

福井県糖尿病協会
☎ 0776-24-2410
医療法人初生会福井中央クリニック 内科

近畿

滋賀県糖尿病協会
☎ 077-522-4131
大津赤十字病院 栄養課

京都府糖尿病協会
☎ 070-5267-1929
京都府立医科大学附属病院
内分泌・免疫内科医局

大阪府糖尿病協会
☎ 06-6879-3743
大阪大学大学院医学系研究科
内分泌代謝内科学講座

和歌山県糖尿病協会
☎ 073-445-9436
和歌山県立医科大学附属病院
第1内科医局

奈良県糖尿病協会
☎ 0744-22-3051
奈良県立医科大学
糖尿病・内分泌内科学

兵庫県糖尿病協会
☎ 078-382-5868
神戸大学大学院医学研究科内科学講座
糖尿病・内分泌内科学部門

中国・四国

岡山県糖尿病協会
☎ 086-235-7235
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
腎・免疫・内分泌代謝内科学教室

広島県糖尿病協会
☎ 082-257-1784
広島大学病院
内分泌・糖尿病内科

鳥取県糖尿病協会
☎ 0859-24-1151
住吉内科眼科クリニック

島根県糖尿病協会
☎ 0852-32-6946
松江赤十字病院 栄養課

山口県糖尿病協会
☎ 0836-22-2251
山口大学医学部 第三内科

香川県糖尿病協会
☎ 087-891-2230
香川大学医学部附属病院
内分泌代謝内科・糖尿病センター

徳島県糖尿病協会
☎ 088-633-7587
徳島大学先端酵素学研究所
糖尿病臨床・研究開発センター

高知県糖尿病協会
☎ 088-880-2343
高知大学医学部
内分泌代謝・腎臓内科学（第二内科）

愛媛県糖尿病協会
☎ 080-5667-2786
愛媛大学大学院医学系研究科
糖尿病内科

九州

福岡県糖尿病協会
☎ 092-631-0656
九州大学医学部
病態機能内科学（第2内科）

大分県糖尿病協会
☎ 097-586-5089
大分大学医学部 看護学科

佐賀県糖尿病協会
☎ 0952-34-2551
佐賀大学医学部 看護学科

長崎県糖尿病協会
みどりクリニック

熊本県糖尿病協会
☎ 096-365-5414
熊本県糖尿病協会事務局

宮崎県糖尿病協会
☎ 0985-22-8015
平和台病院1階

鹿児島県糖尿病協会
☎ 099-275-6436
鹿児島大学病院
糖尿病・内分泌内科医局

沖縄県糖尿病協会
☎ 098-975-9184
沖縄県糖尿病協会事務局